

本学情報ネットワーク工学科 里君（2012年卒業）が勤務するインドコスモ（南インド在）へ会社訪問に行ってきました。

福岡空港を3/23に出発、10:55に成田に到着し、成田からスリランカエアラインを使用して、スリランカのコロombo国際空港に到着したのが現地時間で19:40でした（時差も含めて10時間前後の空路です）。

そのままトランジットホテルに宿泊し、翌朝07:25にコロomboを出発、コーチ（コーチン）へ到着したのは08:45でした。

この写真は町中の風景です。車の往来は非常に激しく、日本と同じ左通行なのですが…いやー、道路中爆走族というか、クラクションがひっきりなしになり続ける中、全ての車が疾走していました。

これが卒業生の里君と、彼の住まうシェアハウスになります。

最大4人くらい？が広々と住めそうな所で、一人毎に個室が与えられております。キッチンも共同で十分な広さがありました。



到着してすぐに、近くの海まで案内してもらいました。このおかげでジェットラグも少し解消されました。気温は30℃をゆうに超えていたでしょう。暑いです。

近くには中国発祥の網を使用した魚を捕り仕掛けもそこここにありました。

インドにも犬はいます。暑い中、愛想を振ってもらいました（笑

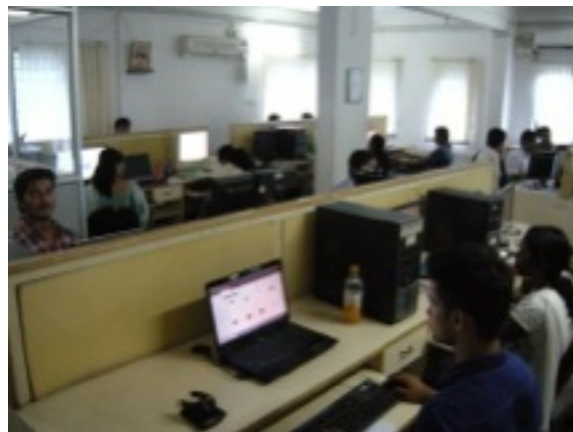
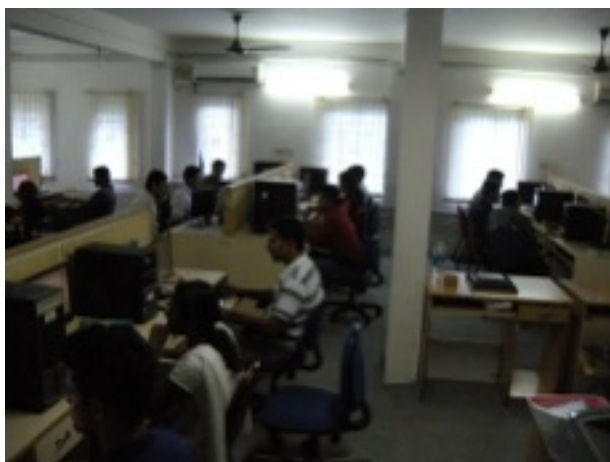


こちらはインドコスモの社長 デービス氏です。彼のオフィスにお邪魔したのは翌日の3/25でした。

オフィスの回線をお借りして、ここでようやく日本の家族に無事のメールを送る事が出来ました。

また、大学内の庶務もこなす事が出来ました。インドに来てまで大学の庶務をこなす私…うーん…

オフィスは20名程度のスタッフが作業中、皆さん基本的には日本企業から受けたソフト開発の仕事がメインだそうです。



## インド旅日記

iOS用のソフトを開発中の女性スタッフです。ここでは1人あたり1言語担当のようで、他にPHP, Java, Android系開発, C等の各種言語を、日本からの依頼にあわせて開発しているようです。

里君の現在の仕事は、インドと日本の橋渡し (Bridge Engineer) であり、まだインドに2年程度ですが、必要十分な英会話を既に習得していました。また、あろう事か、現地語の一つであるマラーヤム語もわかるようになってきたとの事 (爆)。彼の想像以上の成長ぶりには感服しました。

3/26はラジャギリ工科大学にお伺いしました。こちらは崇城大学と既に連携関係を結んでおり、日本と言う私立系の学校になります。

女子学生も目立ち、実習演習場では、交流モータの負荷特性等を手技により計測する実習を暑い中行っていました。ラジャギリ工科大学では、基本的な技術教育と、現代式の技術教育 (コンピュータ制御等) を織り交ぜて教育する方針だそうです。これからのインドを支える学生さん達の活気にあふれていました。

また、カフェの様な図書館等も完備され、快適な晩学の環境である事が伺われます。

最終日には、デービスさんのお宅にて、ホームパーティに招待されました。

里君も成長し、今後の更なる飛翔に期待して、インドを後にしました。本年度も松田研究室から2名 (瀬戸口君、緒方君) がインドコスモに就職します。

二人の成長を見守って行く予定です。



尚、里君は2015年中頃に帰国予定で、以後は日本とインドを行き来する Bridge Engineerとして、活動を本格化させる予定と聞いております。